

(別紙1)

R8薬用作物産地支援 栽培技術研修 (岩手会場) (予定)

研修実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員： 15名

研修実施場所： 1日目：マリオス（盛岡市内）
2日目：八幡平市内ほ場(八幡平市)、プラザあい（岩手町）実施時期： 8月20日（木）～21日（金）
(20日の講義と21日の現地研修は地域説明会と合同開催)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
8月20日 (木)	13:30- 13:45 (15分)	開会、挨拶	諸連絡、講師紹介、資料確認 主催者挨拶		
	13:45- 14:15 (30分)	〔講義〕 国内の薬用作物栽培と東北の栽培概要（仮題）	薬用作物の実需者ニーズと漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。（仮）	平手 豪巳	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班長
	14:15- 15:00 (45分)	〔講義〕 名寄市におけるカノコソウ栽培について説明（仮題）		吉井 淳	小林製薬株式会社 製造本部 購買部 天然原料調達グループ
	15:00- 15:10	休憩			
	15:10- 15:40 (30分)	マッチング事業について	薬用作物産地支援協議会の取り組んでいるマッチング事業について紹介する。	平手 豪巳	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班長
	15:45- 16:00 (15分)	〔講義〕 岩手県における薬用作物産地化の取組（仮題）	岩手県における薬用作物産地化の取組について紹介する。		岩手県 農林水産部農産園芸課
	16:05- 16:50 (45分)	全体質問			
8月21日 (金)	8:30- 9:30 (60分)	移動(バス利用) 盛岡駅→現地ほ場			
	9:30- 11:00 (90分)	〔現地研修〕 薬用作物の栽培技術等について（ほ場見学）	岩手県八幡平市における現地研修でカノコソウの栽培状況を見学し、薬用作物の特徴、栽培上の注意点等について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。		
	11:00- 12:30 (90分)	移動(バス利用)、昼食 現地ほ場→道の駅 石神の里→岩手広域センター プラザあい	(道の駅 石神の里で昼食)		
	12:30- 13:30 (60分)	〔講義〕薬用作物の栽培技術について（仮題）	国内栽培の期待が高い薬用作物の栽培技術について解説する。（カノコソウ等）	柴田 敏郎	前・国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養 研究所 薬用植物資源 研究センター客員研究 員
	13:40- 14:40 (60分)	〔情報交流会〕 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40- 14:50	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	